



第55回



豊田おいでんまつり 実施報告

令和5年10月27日

豊田おいでんまつり実行委員会

1 構成

豊田おいでんまつりは、マイタウンおいでんとおいでん総踊りからなる「踊り」と、「花火大会」で構成

2 趣旨

市民が楽しみ、感動し、訪れる人を温かく迎えることができるようなふるさとのまつりを市民・事業者・行政の共働の力でつくりました。また、市民が豊田市の素晴らしさを再認識し、郷土愛を醸成する「WE LOVE とよた」が体感できる取組を行いました。

3 主催

豊田市・中日新聞社・東海テレビ放送

4 基本テーマ

「WE LOVE とよた」 魅力発見 ふるさとのまつり

- ・「WE LOVE とよた」の露出を高め、市内外へとよたの魅力を発信しました。
- ・地域を巻き込んだ「WE LOVE とよた」の演出により、魅力あるまつりとなりました。

5 スケジュール

日 程	内 容
1月 4日(水)～1月13日(金)	マイタウンおいでん開催団体募集
3月22日(水)～5月 8日(月)	踊り連、リトルおいでん、おいでんアート参加申込受付 ※総踊りに直接参加を希望する「中高生連」は7月1日(金)まで 申込受付
5月8日(月)～5月23日(火)	協賛席豊田市民先行申込受付
5月15日(月)	マイタウンおいでん参加連の発表（公式 HP で発表）
5月15日(月)～5月26日(金)	踊り連、リトルおいでん、おいでんアート参加申込追加受付
5月29日(月)～6月 2日(金)	リトルおいでん踊り位置抽選
5月29日(月)	マイタウンおいでん追加参加連の発表（公式 HP で発表）
6月2日(金)～6月21日(水)	協賛席一般申込受付
6月3日(土)～7月 9日(日)	マイタウンおいでん（14会場）
7月13日(木)	おいでん総踊り参加連説明会、踊りスタート位置の抽選会
7月25日(火)	おいでん総踊りスタート位置の発表（公式 HP で発表）
7月29日(土)	おいでん総踊り
7月30日(日)	花火大会

6 豊田おいでんまつり第55回開催に向けての関係会議等

年	日 程	内 容
令和4年	10月6日(木)	第1回 幹事会(基本計画)
	10月14日(金)	第1回 マイタウンおいでん連絡協議会
	10月20日(木)	第1回 実行委員会(基本計画)
令和5年	1月10日(火)	第1回 踊り部会
	1月12日(木)	第2回 マイタウンおいでん連絡協議会
	2月2日(木)	第2回 幹事会(実施計画)
	2月9日(木)	第3回 マイタウンおいでん連絡協議会
	2月13日(月)	第2回 踊り部会
	2月15日(水)	第2回 実行委員会(実施計画)
	3月9日(木)	第4回 マイタウンおいでん連絡協議会
	4月13日(木)	第5回 マイタウンおいでん連絡協議会
	4月24日(月)	第3回 踊り部会
	5月2日(火)	第6回 マイタウンおいでん連絡協議会
	5月10日(水)	第3回 幹事会(事業報告、第55回開催に向けて)
	5月15日(月)	第4回 踊り部会
	5月17日(水)	第3回 実行委員会(事業報告、第55回開催に向けて)
	5月22日(月)	花火師事前説明会
	5月25日(木)	第7回 マイタウンおいでん連絡協議会
	6月5日(月)	第5回 踊り部会
	6月26日(月)	第6回 踊り部会
	7月10日(月)	第7回 踊り部会
	7月18日(火)	警備部会
	7月13日(木)	踊り連説明会及びスタート位置決め抽選会
	7月26日(水)	踊り審査員説明会
	8月1日(火)	踊り連意見交換会
	8月10日(木)	第8回 マイタウンおいでん連絡協議会
	9月4日(月)	第8回 踊り部会
	10月17日(火)	第4回 幹事会(実施報告)
	10月27日(金)	第4回 実行委員会(実施報告)

I 踊りについて



1 マイタウンおいでん

(1) 開催実績

- ア 開催期間 6月3日(土)～7月9日(日)
- イ 会場数 14会場(前回実績:14会場)
- ウ 開催回数 14回(前回実績:14回)
- エ 踊り連数 94連 1,880人、リトル: 17連 552人
(前回実績: 69連 1,254人、リトル: 11連 419人)
- オ 観客数 22,478人(前回実績:18,341人)
- カ 各マイタウンおいでんの実績

開催日	マイタウン名称	踊り連		リトルおいでん		観客数
		連数	人数	連数	人数	
6月3日(土)	いけいけ鞍ヶ池おいでんまつり	9 (3)	129 (35)	1 (0)	33 (0)	2,200 (700)
6月10日(土)	エコフルタウンおいでんまつり	7 (4)	112 (51)	0 (0)	0 (0)	1,200 (500)
6月17日(土)	踊ろ舞!おいでん小原	5 (-)	52 (-)	0 (-)	0 (-)	300 (-)
6月24日(土)	マイタウンおいでん 香恋の里しもやま	5 (5)	109 (93)	0 (0)	0 (0)	250 (400)
	猿投おいでん夏まつり	13 (11)	224 (197)	3 (3)	130 (130)	2,500 (3,000)
	足助地区おいでんまつり	3 (4)	57 (50)	0 (0)	0 (0)	150 (500)
	稲武おいでんまつり2023	3 (3)	45 (38)	0 (0)	0 (0)	278 (358)
7月1日(土)	元祖 おいでん上郷!2023	5 (4)	103 (60)	1 (1)	29 (30)	2,000 (2,000)
	おいでんあさひ風鈴まつり	3 (2)	30 (15)	2 (2)	23 (20)	300 (300)
7月8日(土)	マイタウンおいでん高岡	5 (3)	132 (59)	3 (3)	109 (113)	3,500 (2,000)
	ふじおかおいでん夏まつり	8 (6)	146 (120)	1 (1)	10 (19)	4,000 (2,200)
	IYOIYO おいでん	9 (6)	234 (143)	0 (0)	0 (0)	500 (383)
	ほ〜いおいでん大林2023 大林町納涼祭	5 (6)	161 (165)	3 (1)	161 (107)	2,300 (2,000)
7月9日(日)	豊スタおいでん夏まつり2023	14 (10)	346 (218)	3 (0)	57 (0)	3,000 (3,500)
合計		94 (69)	1,880 (1,254)	17 (11)	552 (419)	22,478 (18,341)

※ () 内は前回実績

(2) 概要

ア 市内 14 会場において、各マイタウンおいでん実行委員会が主体となり、風鈴や和太鼓、盆踊りなど、地域の特色を活かした内容で会場を盛り上げました。

イ 未就学児が参加するリトルおいでんは、昨年度より2会場の増となる8会場で実施しました。

ウ マイタウンおいでん連絡協議会においては、見直しを行った運営マニュアルをもとに、運営面での協力を図りました。

(3) 新たな取組と成果

ア 各会場の特徴やおすすめなどの情報発信を強化し、踊り連、観客の増加につなげました。

イ 各マイタウンおいでん実行委員会において、地域の団体やこども園へ直接参加を呼びかけるなど、地域主体の開催に努めました。

ウ 共同事業「くるくるおいでんビンゴ」を新たに総踊り会場でも実施したほか、「マイタウンおいでん実行委員会からの応援メッセージ」をアナウンスするなど、マイタウンおいでんと総踊りが一体となった演出を行いました。

(4) 課題

ア 地域からおいでんまつりを盛り上げていくために、地元の踊り連や参加者を増やす取組が必要です。

2 おいでん総踊り

(1) 開催実績

ア 開催日時 7月29日(土) 17:45~21:00

イ 参加者数 45連 1, 214人、リトル: 11連 349人

(第54回実績: 28連 600人、リトル: 8連 229人)

ウ スケジュール

行事名	開催時間	場所	主な行事内容
オープニング	17:45~19:05	名鉄 豊田市駅 東側一帯	・WRC PR (トヨタガズレーシング勝田範彦氏) ・名古屋グランパスエイトステージ (チアグランパス) ・豊田市ジュニアマーチングバンド等によるパレード ・トヨタ自動車野球部 都市対抗野球優勝報告 ・トヨタヴェルブリッツ ステージ ・熱中症予防 PR (おいでん戦隊ミストレンジャー) ・青春おいでん PR ・豊田少年少女発明クラブ 世界大会優勝報告 ・美里幼稚園の鼓笛隊による演奏 ・こじまこども園の鼓笛隊による演奏 ・大賞旗返還、おいでんコール
リトルおいでん	19:05~19:25		未就学児による踊り
おいでん踊り	19:35~21:00		踊り連 (一般・子ども・中高生) による踊り
おいでんアート	19:35~21:00		おいでんアート (2基)
屋台広場	17:00~21:00	拳母神社	屋台

Ⅰ 表彰結果

賞	部門	連名
おいでん大賞	ベーシック	pop de No.1
	フリー	エンジェル R.G
優秀賞	ベーシック	とよしん踊り連
	フリー	KARAmIn's
トヨタふれあい大賞	ベーシック	ULYSIS
	フリー	ReMSH
中高生大賞	ベーシック	Sweet devil
	フリー	※審査対象連なし
チビッコ大賞	ベーシック	梅坪・浄水スポーツクラブ
	フリー	レインボースターランチャー学園
入賞		Hope☆Star
		ふわほっぺ
		Heart Beats&豊田ハンディキャブの会
		チームソナタ
		浄水ちゅう♡
		おし鴨〜ん。
おいでんブラボー！大賞		レインボー♡SHAKE
おいでんアート大賞		大林学区踊り連「大林バイキンマン君」
おいでんアート準大賞		Heart Beats&豊田ハンディキャブの会「車いす舞 気分でハートが鼓動！」

※その他個人賞 52 人(メダル)

(2) 概要

ア オープニング

WE LOVE とよたサポーターズの笑劇波 美麻茜とひまわりネットワークアナウンサー原田栄が総合司会を務めました。

イ WE LOVE とよたの PR

オープニングにおいて、豊田市で活躍する著名人の登壇や、市民の輝かしい功績を称えるなど、来場者に向けて豊田市の魅力を発信しました。

ウ 踊り全体

- (ア) 参加踊り連の増加に伴い、6年ぶりに竹生通りまで踊りコースを延伸して実施しました。
- (イ) プログラム中に、全員でおいでんポップを踊る機会を設けて、ポップの普及に努めました。
- (ウ) 踊ることの楽しさを体感してもらうため、観客が踊りに参加できる「飛入り連」を2連設けました。
- (エ) 熱中症対策として、踊り時の休憩時間の確保や、水分補給を促す注意喚起を徹底しました。

(3) 新たな取組と成果

ア 高校生を対象とした「青春おいでん」を初めて実施し、若年層への参加促進を図りました。また、女性 YouTubeクリエイター かすこんねと連携し、認知度の向上につながりました。

イ 踊り連の紹介やメンバー募集など情報発信を工夫し、参加連の増加を図りました。

ウ 初参加の連を受賞対象とした「おいでんブラボー！賞」を新たに設け、表彰連を増やしました。

エ 熱中症対策として、開催時間を変更したほか、会場内のミスト扇風機の設置、会場内のアナウンス強化など、予防対策に努めました。

(4) 課題

ア 参加する踊り連数は昨年度より大幅に増加したものの、コロナ禍前から減少傾向にあります。数年先を見据えた若年層へのおいでん踊りの普及や、初めての方でも参加しやすい仕組みを検討する必要があります。

トヨタ自動車野球部 都市対抗野球優勝パレード



リトルおいでん



青春おいでん



総踊り



おいでん大賞連によるステージでの踊り披露



Ⅱ 花火について



1 花火大会

(1) 開催実績

- ア 開催日時 7月30日(日) 19:10~21:00
イ 観客数 12,810人(協賛席入場者数)
ウ 打上発数 非公開

種 類	第55回	第54回
打上花火	28玉	29玉
手筒花火	20本	20本
仕掛け花火	4基	4基
スターメイン	33基	32基
地元花火師紹介創作花火	2基	2基
号砲	20玉	20玉

- エ 煙火業者等 株式会社拳母煙火(豊田市)、有限会社豊田煙火(豊田市)、株式会社磯谷煙火店(岡崎市)、株式会社紅屋青木煙火店(長野県)、有限会社太陽堂田村煙火店(長野県)、三遠煙火株式会社(静岡県)、田畑煙火株式会社(静岡県)
一般社団法人日本煙火芸術協会、松平郷手筒保存会

(2) 概要

- ア 協賛席エリア等の会場レイアウトを見直しました。
イ 市公式ツイッター及びおいでん公式インスタグラム等のSNSを活用し、花火大会の魅力発信を行いました。
ウ 第54回に引き続き、おいでんまつりの新たなシンボルになることを目指し、複数の協賛者により1つのスターメインを打ち上げる「おいでん大スターメイン サンフラワー」の取組を継続しました。
エ 「WE LOVE とよた」を推進する取組として、「WE LOVE とよた」の仕掛け花火を実施しました。
オ 花火開催前に、市内の夏の観光情報をナレーションに取り入れ、豊田の魅力をPRしました。また、世界ラリー選手権開催記念スターメイン及びアニメシキザクラのナレーションも実施し、気運の醸成を図りました。
カ 会場の観覧者と共に打ち上げのカウントダウンを行うなど、参加型の花火大会として趣向を凝らしました。

(3) 新たな取組と成果

- ア 会場レイアウトの見直しにより、新たに4人マス席(南・北)及びイス席(南)を新設し、協賛メニューの選択肢を増やすことができました。
イ 公式インスタグラムを活用したプロモーション強化を行いました。「ア」の取組と合わせて実施した結果、協賛者数が過去最高となりました。
ウ 南ゲートの位置を久澄橋下駐車場に変更し、堤防道路上の混雑緩和につなげました。
エ 大型看板の設置場所を変更し、協賛者がスムーズに座席を探すことができるようになりました。

(4) 課題

- ア 新型コロナウイルス感染症が5類に移行し、協賛者が増加したため、救護所の利用人数も増加しました。今後は、熱中症対策をより強化する必要があります。
イ 協賛席の種類によっては完売した席と完売に至らなかった席があるため、配席について検討する必要があります。

Ⅲ 警備について



1 会場警備・交通規制・雑踏

(1) 警備体制実績

(単位 人)

内 容	踊り		花 火		合 計		
	第 55 回	第 54 回	第 55 回	第 54 回	第 55 回	第 54 回	
警備員	警備ディレクター	9	9	13	13	22	22
	警備隊長	14	13	26	28	40	41
	遊撃警備	43	59	50	84	93	143
	交通誘導警備	51	41	130	122	181	163
	雑踏警備	83	74	305	320	388	394
	駐車場警備	10	11	32	32	42	43
	整理誘導要員	5	5	69	58	74	63
	事前巡回等	0	0	0	5	0	5
消防団	32	32	180	300	212	332	
合 計	247	244	805	962	1,052	1,206	

(2) 概要

おいでん総踊り・花火大会

- ア 警備計画を策定し、交通誘導警備員、雑踏警備員、駐車場警備員を適切に配置し、観客や通行車両を安全に誘導しました。
- イ まつり本部内において、警備・警察・消防との連携体制を密にしたことで、過度な混雑状況等に対しても迅速に対応することができました。
- ウ 警察、鉄道2事業者、実行委員会による4者協議を開催し、駅前の混雑緩和対応策の検討とその方針の共有を図ったことで、スムーズに観客を誘導することができました。
- エ 花火大会において救急車などの緊急車両動線と、来場者の歩行者動線を確保するため、駅前停車場線、白浜側堤防道路上（久澄橋～高橋の間）に、カラーコーンなどの資材を用いて「緊急対策エリア」を設けました。
- オ 立入禁止区域と交通規制区域内への進入防止や、会場周辺の渋滞を防ぐため、誘導・迂回看板、横断幕を適所に設置しました。
- カ 青少年健全育成のため、豊田市駅周辺の若者滞留場所にフェンス等を設置し、駅前周辺の安全向上と防犯対策に取り組みました。

(3) 新たな取組と成果

- ア 豊田市駅周辺の人流対策として、駅周辺にて資機材を用いた動線確保を行いました。
- イ 鉄道利用客の往路・復路における動線を明確にするため、大型看板を追加設置し、誘導を行いました。

(4) 課題

- ア 警備員のオペレーション共有が徹底されておらず適切な対応ができないケースがありました。指揮命令システムの整理、人員配置の検討が必要です。
- イ 鉄道への復路動線において、帰宅者が集中し、過剰な混雑となり、人流のコントロールが困難となる時間帯がありました。鉄道帰宅者の流れを確保する対策検討が必要となります。

2 救護

(1) 救護実績

(単位 人)

状 況	踊り		花火		両日	
	第 55 回	第 54 回	第 55 回	第 54 回	第 55 回	第 54 回
怪 我 (うち、救急搬送人数)	2 (1)	1 (0)	9 (1)	5 (0)	11 (2)	6 (0)
体調不良 (うち、救急搬送人数)	3 (1)	2 (1)	37 (16)	13 (1)	40 (17)	15 (2)
その他 (うち、救急搬送人数)	1 (1)	0 (0)	5 (3)	6 (0)	6 (4)	6 (0)
合 計 (うち、救急搬送人数)	6 (3)	3 (1)	51 (20)	24 (1)	57 (23)	27 (2)

※救護所数	4 か所	3 か所	8 か所	7 か所
-------	------	------	------	------

(2) 概要

- ア 踊り会場の延伸に合わせた救護所追加や、駅舎内での救急事案に対応できる救護所を追加しました。
- イ 各救護所に消防職員を配置し、水、氷、A E D、車イス、救急用医薬品等を設置しました。
- ウ 救急車の出動時には、消防・警察・警備員と連携して、事前に定めたピックアップポイントを活用し、緊急対策エリアが有効に機能し、迅速な搬送に努めました。

IV その他会場・運営について



1 運営スタッフ・ボランティア実績（清掃活動参加者を含む。）

（単位 人）

内 容		踊り		花火		両日	
		第55回	第54回	第55回	第54回	第55回	第54回
市職員	産業部	52	23	91	51	143	74
	消防	28	29	48	41	76	70
	その他応援	1	6	8	11	9	17
委託スタッフ	進行	11	9	21	21	32	30
	運営	55	48	96	91	151	139
	清掃	0	55	0	80	0	135
ボランティア	一般・市職員 互助会	45	45	44	31	89	76
	市役所職制会	0	0	69	0	69	0
	企業・団体	30	18	42	110	72	128
	合 計	222	233	419	436	641	669

2 ごみ・清掃対策

（1）ごみ回収量実績

（単位 kg）

区 分		踊り		花火		両日	
		第55回	第54回	第55回	第54回	第55回	第54回
資源ごみ	ペットボトル	200	150	1,110	1,300	1,310	1,450
	カン・ビン	130	115	595	770	725	885
燃やすごみ		210	420	1,600	3,100	1,810	3,520
産業廃棄物（廃プラ）		540	100	5,240	2,720	5,780	2,820
排出量合計		1,080	785	8,545	7,890	9,625	8,675

（2）概要

- ア 専門の清掃スタッフ等により、ごみステーションの運営を行うとともに、会場内やその周辺のごみ分別・回収活動を実施しました。
- イ 露店付近のごみステーションは、露店の営業時間と合わせた開設時間とし、スタッフの業務も早番と遅番の交替制をとり、効率的なごみの回収に努めました。

3 屋台広場

(1) 開催実績

7月29日(土)	拳母神社屋台広場	17:00~21:00	46店
7月30日(日)	豊田スタジアム東エリア	17:00~21:00	19店
	スカイホール豊田南入口エリア	17:00~21:00	29店
	八幡公園	17:00~21:00	61店
	とよたキッチンカーまるしえ	17:00~21:00	8店

(2) 概要

- ア 屋台広場は、終了時間まで多くの人で賑わい、まつりの雰囲気を感じ出すことができました。
- イ 消防と連携し各店舗に立入検査を実施し、消火設備等の確認を行い、安全確保に努めました。
- ウ 花火観覧客分散のため、川端公園にて豊田市の特産品を扱う「キッチンカーまるしえ」を行いました。

(3) 課題

- ア 八幡公園では、観覧客と屋台広場利用客による滞留が発生し人流のコントロールが困難な時間が発生しました。適切な動線の確保等の対策が必要です。
- イ 川端公園の「キッチンカーまるしえ」について、打上会場から離れているため、集客が想定より少なく、分散観覧への効果が乏しかった。出店位置の再検討が必要となります。

V 協賛について



1 協賛実績（9月1日現在）

（単位 円）

区 分	第55回	第54回
花火	92,888,000	50,158,000
法人	32,087,000	26,843,500
バスツアー	167,500	-
個人	60,633,500	23,314,500
広告等	8,010,000	7,190,000
その他（賞金等）	750,500	572,500
合 計	101,648,500	57,920,500

2 概要

- ア 企業による花火協賛が安定しており、企業とともにまつりを盛り上げることができました。
- イ 個人協賛の受付では、Web とハガキでの抽選方式による受付を行いました。また、抽選方式受付終了後の先着受付においては、全国のセブン-イレブン及びチケットぴあサイトでの受付を行いました。
- ウ 協賛受付の広報のため、豊田おいでんまつり公式ホームページはじめ、SNS、新聞広告、雑誌、ポスター等で広く豊田おいでんまつりをPRしました。
- エ 協賛席入場券にバーコードを印字し、電子端末を利用した非接触入場方式を引き続き導入しました。入場方法を SNS 等で事前に広くPRすることで、協賛者を混乱なくスムーズに入場させることができました。

3 新たな取組と成果

- ア 収入確保のため、金額を含めた協賛メニューの見直しを行いました。また、協賛席数を増やす取組と合わせて実施した結果、協賛目標金額を達成することができました。

4 課題

- ア 市外県外からのバスツアーについて想定どおりの協賛数を得ることができませんでした。今後、引き続き新たな協賛者を増やすため、募集時期の再検討など、募集を強化する手法を検討します。
- イ 協賛席の種類によっては完売した席と完売に至らなかった席があるため、配席について検討する必要があります。
- ウ 入場に関するデータを検証し、入場ゲート付近の滞留防止策について引き続き検討します。

1 総務

- (1) 業務が集中する期間（4/1～8/31）において、豊田おいでんまつり専任の臨時職員を1名雇用しました。
- (2) 台風等の影響に伴うまつり中止への対応として、興行中止保険へ加入しました。

2 広報宣伝実績

(1) テレビ放送

ア 東海テレビCM放送

7月17日（月）から20日（木）にかけて、30秒間のCMを9回放送しました。

イ ひまわりネットワーク生中継

おいでん総踊り・花火大会当日に、生中継を行いました。

また、YouTubeでも同様の内容をライブ配信しました。

(2) 新聞広告

新聞名	掲載日
新三河タイムス	6/2（金）
朝日新聞 三河版	6/30（金）・7/7（金）
矢作新報社	7/21（金）
毎日新聞	7/25（火）
中日新聞朝刊	7/27（木）
中日新聞	7/29（土）

(3) ポスター

掲示先	掲示期間	踊り連募集用	まつり用
マイタウンおいでん運営委員会	3月中旬～	340枚	340枚
協賛企業・近隣市町村	3月中旬～	415枚	1,500枚
市内組合業者・宿泊施設	3月中旬～	35枚	550枚
市関係機関 他	3月中旬～	300枚	410枚
おいでんバス・名鉄バス	3月中旬～	100枚	100枚
名鉄電車・愛知環状鉄道	6月中旬～	-	1,200枚

踊り連募集とおいでんまつりをPRする2種類のポスターを作成し、市内各所に掲示することによっておいでんまつりを盛り上げました。

（踊り連募集PR 1,190枚、全体PR 4,100枚）

(4) 公式ガイド

ア おいでん総踊り及び花火大会の情報を掲載した公式ガイドを15万部作成しました。

イ 7月14日（金）・15日（土）に市内全域及び周辺地域にポスティング、7月22日（土）に新聞折込を行うとともに、まつり当日に会場や中心市街地の施設などで配布しました。

(5) 新聞記事、広報とよた

ア おいでんまつりに関する記事を、中日新聞をはじめ各社に掲載していただきました。

新聞社	掲載日	内容
中日新聞	3月21日	第55回豊田おいでんまつり参加受付開始
中日新聞	4月15日	「青春おいでん」の参加者募集（～4/30）
中日新聞	4月19日	第55回豊田おいでんまつり 法人協賛募る
中日新聞	5月16日	「青春おいでん」初の合同練習実施5/14
中日新聞	5月18日	市民から協賛受付開始（～5/23）
中日新聞	6月4日	6/3鞍ヶ池公園を皮切りに各地でマイタウンおいでん開催
中日新聞	7月26日	第55回豊田おいでんまつり「青春おいでん」を初企画
中日新聞	7月27日	豊田おいでんまつり総踊り 親子三世で作る踊り連が出場
中日新聞	7月28日	猛暑予報 実行委員会は対策呼びかけ
中日新聞	7月29日	6年ぶりの本格開催で熱気 周辺道路は交通規制も
中日新聞 毎日新聞	7月30日	おいでん総踊りのオープニング トヨタ自動車硬式野球部の選手らパレードに参加 優勝をたたえて市スポーツ栄誉賞を贈呈
中日新聞	7月30日	7/29 豊田市駅東側一帯で総踊り開催
中日新聞	7月31日	7/30 矢作川河川敷にて花火大会開催
朝日新聞	8月1日	コロナ禍前の規模で開催 56連1,563人が集結
中日新聞	8月2日	6年ぶりの完全開催 マスクの着用義務や声出しの制限なし
中日新聞	8月3日	熱中症とみられる症状への対応件数は2日間で33件

イ おいでんまつり関係情報を広報とよたに10回出稿しました。

(6) 情報誌・インターネットサイトなど

県内外の情報誌、インターネットサイトなどに掲載していただきました。

宣伝媒体	件数
情報誌	9
インターネットサイト	12
合計	21

(7) テレビ、ラジオなど

※ ○は実行委員会事務局が出演

放送機関	内 容	日 付	出演
ラジオラヴィート ホットニュースとよた	花火協賛受付、おいでん総踊り、 花火大会告知	3月7日、3月27日	○
東海テレビ スイッチ！	おいでん総踊り、花火大会告知	7月14日	
ひまわり（CATV） とよた NOW 特集	おいでん総踊り、花火大会、 青春おいでん告知	7月17日～21日	○
FM AICH 「DAYDREAM MAGIC」	おいでん総踊り、花火大会告知	7月18日	○
東海テレビ ちゃーじ	おいでん総踊り、花火大会告知	7月22日	
ひまわり（CATV）	おいでん総踊り中継	7月30日	
ラジオラヴィート	おいでん総踊り中継	7月30日	
ひまわり（CATV）	花火大会中継	7月31日	
ラジオラヴィート	花火大会中継	7月31日	

3 概要

- ア おいでんまつり開催前からまつりムードを高めるため、おいでんまつりに関する情報が市民の目に触れるように、定期的に報道発表を行いました。
- イ 東海テレビ放送によるCM放送では、おいでんまつりのイメージ向上について幅広い周知をすることができました。
- ウ テレビ・雑誌・ラジオなどメディアの取材で積極的にPR活動を行いました。
- エ 公式ホームページ及び公式インスタグラムを通し、おいでんまつりの特徴や魅力、各種情報を多くの方に発信することができました。開催に関する事前情報を発信したことにより、大きな混乱を防止するタイムリーな発信ができました。
- オ 市公式 SNS（Twitter、Facebook、LINE）の活用、ツーリズムとよた HP 及び Facebook の発信のほか、ひまわりネットワークと緊急情報発信に関する覚書を締結し、開催情報などを幅広くかつスピーディーに発信する体制を構築しました。また、多くの報道機関にご協力いただき、各種情報を展開しました。

4 課題

- ア 多くの方に愛されるふるさとのおまつりとして、まつり開催直前だけでなく、年間を通し継続的に発信を行うことが必要です。
- イ 幅広い世代や市内外に広くまつりを周知するため、時代に適応した広報手法を引き続き検討します。